

場 所：富岡公民館 3 階第一会議室
日 時：令和 3 年 5 月 1 1 日（火）
1 3 時 0 0 分～1 6 時 0 0 分
講 師：佐藤青樹
連盟・相談役：佐藤公江
出席者：大西旅人、塩見和昭、高野平太、
谷口勝、長谷川智、三浦みちえ、
森山裕子、山岸順、山口しだれ、
山口昇柳、福田次郎

6 5 号

浦安とみおか川柳会

5 月例会結果

課題「めりはり」・互選

講評 * 佐藤青樹

「1点」

スイーツに甘い私のダイエツト 順

絵が見え出来ている句。

めりはりに拘り過ぎて支配され しだれ

下五の「支配され」が少々気になる。

例「めりはりが己の首を締めに来る」

ノー残業日気分を変えて飲みに行く 勝

上五の「ノー残業日」はリズム感が。中七の「気分をかえて」は、短い言葉へ（例えば比喩とか代名詞へ）

例「残業の無い日は友と縄のれん」

「2点」

せんべいをバリバリ食べる総入れ歯 順

「バリバリ」が、めりはり。場面が見えて出来た句。

めりはりが老いに活気をやる気出る しだれ

どんな「めりはり」かが分かると。活気」と「やる気」は、ダブリ気味なのでは。

例「よく食べて良く寝た老いに出る活気」

「3点」

見通しや予算もなしに発出し 旅人

下五が「し止め」に。「発出」は何を始めたのですか。例「見通しや予算もなしに旅へ発ち」

抑揚をつけてマイクを独り占め みちえ

「抑揚をつけて」が「めりはり」なのでしょうね

参考「振りを付け歌いマイクを離さない」

「4点」

マスクする目もとだけ濃い化粧して 旅人

「マスクする」で句が切れてしまい、リズム感が悪い。

例「目もとだけ目立つ化粧でマスクかけ」

「6点」

緩急も抑揚もなくわが総理 旅人

一読明快の句。上手く出来ました。

「7点」

巢ごもりに強弱のない日々過ごす 勝

言いたいことは分かる。中七「強弱のない」に工夫を。例「漫然とコロナ巢ごもりしてメタボ」

化粧してめりはりつける夜の蝶 勝

夜の蝶の出陣風景が見える一読明快の句。

「9点」

紅ひかず目元バツチリテレワーク 順

絵が見え、出来ている句。参考「マスクして目元が光るテレワーク」

課題「めりはり」・互選 続き

「10点」

抑揚をつけて恐怖の読み聞かせ みちえ

「恐怖の読み聞かせ」が少々気になりませんか。

参考「怪談をおどろおどろと子に聞かせ」

「選外」

一日にめりはりつけて生き生きと

―読明快上手く出来ました。

参考「めりはりをつけて一日生き生きと」

コロツケのロボット芸のひろしです

ロボットのようギクシヤク動くのが「めりはり」。

面白くてきた句だが、この方面にうといものには解釈し難い句。

高速のあおり運転。パトの世話

中七「運転」と下五「パトの世話」に工夫が欲しい。

「あおり運転」は「あおり」だけではないのでは。 川

柳は省略の短詩」であることを忘れずに。

例「高速のあおり覆面パトが追い」

番号をスマホと固定を区別して

なぜ・どのように使い分けているのが、不明ですね。

例「彼へはスマホあとは親父の黒電話」

子が遊ぶほうきバケツで儀仗兵

絵が見える句だが、上五の「子が遊ぶ」で句が切れ、

リズム感が悪い。

例「子供らがほうきバケツで儀仗兵」

高齢者仕事を得ても見極めて

この句は、高齢者は、仕事を得てから見極める」ととれますが。

例「高齢になって適職見極める」



【溜り場】川柳六大家（川柳人協会HPより） 2

川柳界を引っ張って来たのは、六大家と言われる人たちです。戦前、戦中、戦後を通して、彼等は川柳界の先頭に立って川柳の旗を振り続けてきました。現在の川柳界の指導者は、何らかの形でこの六大家の影響下にある人たちです。

六大家と言われる人が創刊した結社や雑誌を守って、彼等の理想を現代に即したかたちで引き継いでいるのです。作品はいずれも穏健で、時代にうまく溶け込もうとしている様子が見受けられます（編集者の評論では、ありません。川柳人協会の評論です。）。

これから、六人の業績と作品を紹介していきたいと思います。今回は、川上三太郎です。

自由吟・佐藤青樹選

「秀」

ヨチヨチにおいてここよと声あまた
趣味多く住職習うフグ料理
喜寿を過ぎまだ残った砂時計
五輪さえ付度しない新コロナ
あれ発芽どんな花咲くこぼれ種

「客」

くずかごに妻を捨てたくなる日暮
明暗をコロナが決める決算書
母の日に希望の色で花が来る
墓参り入れる余地を見せられる
政治家と詐欺師が使う二枚舌

「人」

家の舵妻にまかせて權になる
コロナ禍の地球へ叫ぶムンクの絵

「天」

介護した嫁が旗振る遺産分け

しだれ

勝

勝

平太

平太

旅人

裕子

裕子

智

勝

和昭

裕子

順

鑑賞コーナー

第三十四回サラリーマン川柳コンクール

「十位」

抱き上げた孫が一言密ですよ

白いカラス

「九位」

お若いと言われマスクを外せない

エチケット

「八位」

YOASOBIが大好きと言い父あせる

テンピ

「七位」

お父さんマスクも会話もよくずれる

さごじょう

「六位」

我が部署は次世代おらず5爺(ファイブジイ)

松庵

「五位」

じいちゃんにJ・y・parkの場所聞かれ

けえぼつぷ

「四位」

嫁の呼吸五感で感じる全集中

鬼嫁一家

「三位」

リモートで便利な言葉「聞こえません」

リモートの達人

「二位」

十万円見る事もなく妻のもの

はかなき夢

「一位」

会社へは来るなと上司行けと妻

なかじ

【溜り場2】川上三太郎(1891~1968)

東京・日本橋に生まれます。大倉商業学校を卒業後大倉洋行に入社しますが、そこを退社して東京毎夕新聞に入社。川柳は14歳頃より井上剣花坊の柳樽寺川柳会に所属する。国民川柳会を発足させ、それが現在の川柳研究社となります。二刀主義(伝統川柳と純詩性川柳)を唱え『天気晴朗』、『川柳二百年』などの著作があります。

- ☆さぼてんにひとり娘のやうな花
- ☆貧乏を子もうすうすは知っている
- ☆仲見世の雨はそのまま灯に染り

川柳人協会HPより



課題「両手」・二人選 三浦みちえ選

「秀」

随分と疲れるでしょう阿波踊り
ゴールするやはりグリコのポーズして
旅人

パパとママ両手に花の一人っ子
順

両手に花墓地公園へ携えて
次郎

両手には存る物溢れまだ枯れぬ
しだれ

「客」

片手では支えきれない今の君
次郎

庭に咲く花を両手に鬱飛ばす
しだれ

神頼みコロナ終われと手を合わせ
勝

唱と柳両手に花で今を生き
昇柳

難民の子伸ばす両手に今日の飯
順

つかみ取り手からこぼれる欲の数
勝

「地」

土下座して妻に謝る朝帰り
勝

「天」

父の背と母の笑顔に手を合わせ
平太

(自句) ありがとう両手で母を抱き締める

課題「両手」・二人選 山口昇柳選

「秀」

孫の手と両手に握り犬散歩
智

パパとママ両手に花の一人っ子
順

退院時看護師嬢の手に感謝
智

つかみ取り手からこぼれる欲の数
勝

ゴールするやはりグリコのポーズして
旅人

神頼みコロナ終われと手を合わせ
勝

片手では支えきれない今の君
次郎

仲直り互いに背中カイク貼る
平太

バーゲンで得物をつかむ今日の糧
智

庭に咲く花を両手に鬱飛ばす
しだれ

父の背と母の笑顔に手を合わせ
平太

両手に花墓地公園へ携えて
次郎

ありがとう両手で母を抱き締める
みちえ

(自句) 唱と柳両手に花で今を生き
健康で元気な笑顔祈り生き
友達を作り奉仕へ神頼み

(自句)

健康で元気な笑顔祈り生き
友達を作り奉仕へ神頼み

【掲示板】

1. 7月例会のお知らせ

- ・日時 : 令和3年7月13日(火)
13時00分～16時00分
- ・場所 : 美浜公民館第一会議室
- ・課題「延長」 : 互選 3句
- ・課題「気合」 : 二人選 3句
- ・自由吟 : 3句

2. 連絡事項

7月7日(水)締切りの第5回浦安川柳大会(誌上大会)が近づいて来ました。コロナ禍により、在宅時間が増えたかと思えます。会員の皆様の秀句を期待しています。

会長 山岸順